

# 平成 23 年度 南信州地域交通問題協議会 総会 議事録

## 概要

日時：平成 24 年 1 月 23 日（月） 9:00～11:25

会場：飯田消費生活センター大会議室

出席者：P 4

## 議事

- (1) 議長の選任
- (2) 議事録署名人の選任について
- (3) 第 1 号議案 事後評価について 資料 1（別添）
- (4) 第 2 号議案 第 2 次実施計画（案）について 資料 2（別添）
- (5) 第 3 号議案 生活交通ネットワーク計画について 資料 3（別添）
- (6) 第 4 号議案 平成 24 年度運行変更（案）について

## 議事内容

- (1) 議長の選出について
- (2) 議事録署名人の選任について
  - ・ 議事(1)～(2)について、議長の任を受けた牧野市長により進行。
  - ・ 議事録署名人については、高森町牛牧区長 原 弘委員と根羽村住民代表 樋口 明委員の 2 名を指名した。
  - ・ 質疑応答等は特になかった。
- (3) 第 1 号議案：事後評価について
  - ・ 議事(3)について、南信州地域交通問題協議会事務局藤井より説明。
  - ・ 内容に関する質疑応答は特になかった。
  - ・ 議案の通り、承認された。
- (4) 第 2 号議案 第 2 次実施計画（案）について
  - ・ 議事(4)について、南信州地域交通問題協議会事務局一柳より説明。  
（長野運輸支局 原首席専門官）  
資料 2 の P 8 の運行事業者について、市町村運送のところがある。下伊那南部地域公共交通対策協議会は阿南町、阿智村地域公共交通協議会は阿智村、豊丘村地域公共交通会議は豊丘村ではないか。
  - （一柳）  
ご指摘の通り訂正する。
  - （天龍村長）  
・ 支線も、重要な路線として扱ってほしい。

(加藤准教授)

資料2の第2次実施計画書(案)について大筋問題はないが、下記の内容が不十分であり見直し(改善)を図られたい。

定住自立圏との連携

- ・連携で何を指し、それに基づいて具体的にどういうことをやろうとするのかが見えない(明記がない)
- ・それゆえに事業計画の中の「事業」や「評価」としてあらわれていない。

南信州地域交通問題協議会の存在意義の欠如

今回の組織の役割や事業主体等の見直しは実態に合わせて行うことについて問題ないが、対外的に見ると地域公共交通の取り組みが後退しているように受け止められる。

地域公共交通確保維持改善事業に関する事項

協議会を持たない町村がこの事業に取り組む場合、新たに協議会を立ち上げなければならないことになり、協議会の乱立につながるのではないかと。また、そういった町村への配慮が必要ではないか。

- ・第1次実施計画からの変更点(1)~(5)について承認された。第2次実施計画書(案)については加藤准教授の意見を反映し、次期総会にて諮る。

(5)第3号議案 生活交通ネットワーク計画について 資料3 (別添)

- ・議事(3)について、飯田市地域公共交通改善市民会議事務局木下係長より説明。

(加藤准教授)

この補助制度を大きくする、あるいは仕分けられないためにも、地域にとって資する事業であることをこの生活交通ネットワーク計画や事業評価にアピールする必要がある。そういう意味で記述されているか、見直してほしい。

(木下係長)

4月の事業評価には記載をしたい。また今年度の事業評価をする中で来年度以降の生活交通ネットワーク計画には記述していきたい。

- ・議案の通り、承認された。

(6)第4号議案 平成24年度運行変更(案)について

- ・議事(6)について、南信州地域交通問題協議会事務局一柳より説明。

(加藤准教授)

利用促進について、八戸市(飯田市と同様に周辺市町村と定住自立圏を形成)では運賃の見直し(上限運賃化)を行った。回数券のPRも市役所や支所、コンビニ、スーパー等で販売し徹底的に行っており、この回数券の見直しはそれに比べて規模の小さいものでありもっと頑張ってもらいたい。

- ・議案の通り、承認された。

報告事項

事後評価

- ・松川町地域公共交通対策協議会
- ・下伊那南部地域公共交通対策協議会
- ・阿智村地域公共交通協議会
- ・豊丘村地域公共交通会議

(加藤准教授)

松川町地域公共交通対策協議会

- ・収支率を見ると 1.1%であるが、残りを国や市町村が負担することになる。国に対して補助金をもらうための説明ができるか。この程度の利用であれば、デマンドにするとか車両を小型化する等の見直しは行ったか。

(酒井係長回答)

- ・車両の小型化や運行回数(隔日運行)の見直しを行った。国に対して説明ができるようにしたい。

下伊那南部地域公共交通対策協議会

- ・潜在的な需要について(本当だったらこれだけ乗っていいはずなのに、これだけしか乗っていないということは調べていないか)
- ・結果として増えたのはいいが、その理由をしっかりと調査することにより潜在的な利用で増えたり、もっと利便性を高めることができるのでは。

(宮島主任回答)

- ・ターゲットは高齢者と高校生である。高校生については下宿が減った。

阿智村地域公共交通協議会

- ・阿智村としてターミナルは作らないのか。駒場線と西部コミュニティバスと阿智村バスとの接続をしっかりと行えば、相乗効果でもっと利便性が高まるのではないか。

(山田主査回答)

- ・すでに学校前がターミナルとなっており、スーパー内にも待合所がある。

豊丘村地域公共交通会議

- ・路線に問題はないか。総合事業は最終年度であるが、本格運行ではこうする、が見えない。福祉バスとの整合性は。

(昼神課長)

- ・路線については地理的条件等によりこの組み立てしかないと考えられる。
- ・福祉バスとの整合性についても検討し、協議も行った。

以上

南信州地域交通問題協議会 総会（H24.1.23）出欠名簿

委任状

（敬称略）

区分	所属団体等	委員名		代理出席者名	出欠
		役職	氏名		
公共交通利用者 （一般住民）	飯田市地域公共交通改善市民会議	座光寺地域自治会	湯澤 英範		
	飯田市地域公共交通改善市民会議	飯田市高齢者クラブ連合会	村松 有光		
	喬木村	阿島区長・区長会長	原 光 一 郎		
	高森町	牛牧区長	原 弘		
	根羽村	住民代表	樋口 明		
	阿智村	智里西自治協議会・会長	渋谷 利久		
	売木村	住民代表	渡邊 久美		×
	阿南町	阿南町老人クラブ連合会・会長	勝又 和治		×
環境団体	地域ぐるみ環境ISO研究会	会長	萩本 範文	事務局 澤柳 俊之	
福祉事業者	社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会	会長	福田 富廣		
学校関係者	下伊那地区高等学校長会（飯田工業高校長）	会長	篠田 宏	生徒指導 交通安全担当 伊澤 正臣	
商工関係者	飯田商工会議所	会頭	柴田 忠昭	事務局次長 宮下 貴芳	
	長野県商工会連合会下伊那支部広域協議会	会長	秦 和陽児	南信支所長 片桐 義夫	
公共交通 事業者	東海旅客鉄道(株)飯田支店	支店長	小林 昇	主任 岩瀬 武夫	
	信南交通(株)	社長	中島 一夫	旅客サービス事業部長 北原 光義	
	伊那バス(株)	社長	藤澤 秀敬	管理課長 福澤 信義	
	長野県タクシー協会下伊那支部	支部長	村澤 文彦		
	大新東(株)北陸・信越支社	支社長	木下 宏	長野担当課長 下沢義光	
公安委員会	飯田警察署	署長	春日 利巳	規制免許係長 北原 経夫	
	阿南警察署	署長	宮下 辰男		×
学識経験者等	広域連合議会	議員	木下 容子		
	広域連合議会	議員	米山 由子		
	名古屋大学大学院	環境学研究科 都市環境学専攻 准教授	加藤 博和		
道路管理者	国土交通省飯田国道事務所	所長	杉井 淳一	副所長 高木 進	
	長野県飯田建設事務所	所長	三井 宏人	維持管理課長 柳瀬 勝弘	
行政	下伊那那地方事務所	所長	久保田 篤	地域政策課長 熊谷 和史	
	飯田市	市長	牧野 光朗		
	松川町	町長	深津 徹	まちづくり推進係長 酒井 仁	
	高森町	町長	熊谷 元尋	総務課長 福田 幸志	
	阿南町	町長	佐々木 暢生		
	阿智村	村長	岡庭 一雄		×
	平谷村	村長	小池 正充	総務課長 塚田 浩	
	根羽村	村長	大久保 憲一	企画財政係長 鈴木 秀和	
	下條村	村長	伊藤 喜平		
	売木村	村長	松村 増登		×
	天龍村	村長	大平 巖		
	泰阜村	村長	松島 貞治		
	喬木村	村長	大平 利次		
	豊丘村	村長	下平 喜隆		
	大鹿村	村長	柳島 貞康	商工観光係長 足助 義則	
南信州広域連合	広域連合長	牧野 光朗		（再掲）	
オブザーバー	国土交通省 北陸信越運輸局 長野運輸支局	首席運輸企画専門官	原 多美子		
	県企画部交通政策課	課長	小林 透	担当係長 稲玉 稔	
	飯田市 企画課	係長	木下 一		
	飯田市 企画課	主査	村下 真一		×
	松川町 総務課	主事	田辺 哲哉		
	阿南町（下伊那南部総合事務組合）	事務局	宮島 正樹		
	阿智村 総務課	主査	山田 正人		
豊丘村 総務課	課長	昼 神 毅			